キョウコレ

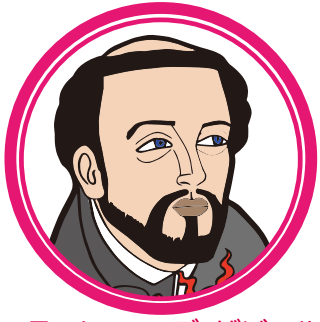
戦国の世，日本と外国にはどのようなかかわりがあったのでしょうか。　/

Q1.戦国時代の外国とのかかわりについて、下の文にあう言葉を(　　)に書きましょう。

戦国大名が日本の各地で戦っていた頃、ヨーロッパ人がアジアに進出していました。

日本にも(　スペイン　)やポルトガルといった国から宣教師や貿易船がやってきて、ヨーロッパの進んだ文化や品物をもたらしました。

(フランシスコ・・デ・ザビエル)は、日本に鉄砲が伝わった数年後に鹿児島に来て、キリスト教の教えを広めました。キリスト教を信じる戦国大名も現れました。また、堺(大阪府)などの港町は、これらの国々との貿易(南蛮貿易)によって大いに栄えました。



フランシスコ・デ・ザビエル
(1506～1552年)

Q2.このころ、スペインやポルトガルから伝わり、今でも日本語として使われている言葉を6つ書きましょう。

カルタ（スペイン）	コロッケ（ポルトガル）
タバコ（スペイン）	ビスケット（ポルトガル）
ボタン（スペイン）	カステラ（ポルトガル）